



いっぷくニュース

いっぷくのケア

9月は「世界アルツハイマー月間」と定められ、世界各地で認知症への理解の呼びかけなど様々な活動が行われています。認知症研究は、アルツハイマー病などの病態の解明、早期診断法や予防・治療薬の開発など世界中で進められており、現在は大きな変革期を迎えていると言われています。いっぷくでは、この9月の世界アルツハイマー月間に限らず、日々、認知症に関する知識を深め、お一人おひとりの症状に合った対応を検証しながらサポートしています。施設のケア方針は大きく3つ掲げられています。

1. 寄り添うケア

生活を一緒にする中で、その人の生活のペースを大切にします。ふだんの日一日を大切にすごします。

2. 元気がでるケア

人は病後や老化で元気がなくなるわけではありません。年をとって麻痺したからだを持ってまで、生きたいという気にならないからです。その人の元気を取り戻すケアをします。

3. 知るケア

人にはそれぞれ生きてきた歴史や人生があります。その人を知る努力をし、個性を大切にします。

その方を「知ること、知りたい」と思うこと、「寄り添う、寄り添える」関係作り、そして、「元気がでる、笑顔でいられる」生活を送っていただけるような支援を目指しています。認知症や疾患を抱えるご利用者、そしてそのご家族が安心してご利用いただける、そんなサービスを提供できるよう、日々学びながら、コミュニケーションを大切にしながら取り組んでいきたいと思っています。

お知らせ

響ファミリー・舞踊ショー いよいよ開演!

毎年大盛況の「響ファミリー・舞踊ショー」を開催いたします。たくさんの方からのご予約、ありがとうございます。受付は終了しておりますが、11月号にてショーの様子をご報告いたします!



いっぷくの活動



認知症介護実践者研修の報告会を行いました。介護職員・看護職員の他、すべての職種が参加して、全員で情報共有。とても有意義な会となりました。



特別養護老人ホームいっぷく 敬老の日のお祝い

9月15日は「敬老の日」。88歳のお祝いで三条市より、お祝のお手紙と記念品が届きました。施設長より代表してお渡しし、記念にお写真を撮りました。これからも笑顔でお過ごしください。



おめでとうございます!

ケアハウスいっぷく ハッピーハロウィン

レクリエーションでハロウィン工作をしました。膨らました風船にクシャクシャにした画用紙をのりで貼り付けておばけの顔を作りました。好きな色を手にとり、好きなように貼り、乾いてから目や口を自由に付けて、かわいいお化けの完成です。色とりどりのハロウィン飾りがたくさんできました!



あいあい保育園 秋を満喫中!

秋のお散歩って 気持ちいいね!

どんな匂いがするかな

いろいろな色があるね

しただ保育園 がんばった! 運動会

運動会で、いろいろな競技を楽しむ子どもたち! お友だちを応援したり、かっこいい鼓隊で披露したり、思い出に残る運動会になりました。

